

おげま

2015

11

「夢、無限大」
感動おげま



【特集】 あなたのその手が温かい

《表紙》
小浜小学校の4年生22人が、
福祉学習の一環として、障がい
者の外出支援を行う買物ボラン
ティアの活動に参加しました。
子どもたちは、5班に分かれて
第三やすらぎの郷利用者5人の
店舗での買い物を手伝いました。
※P2からの特集記事でも掲載
(駅前町・10月14日)

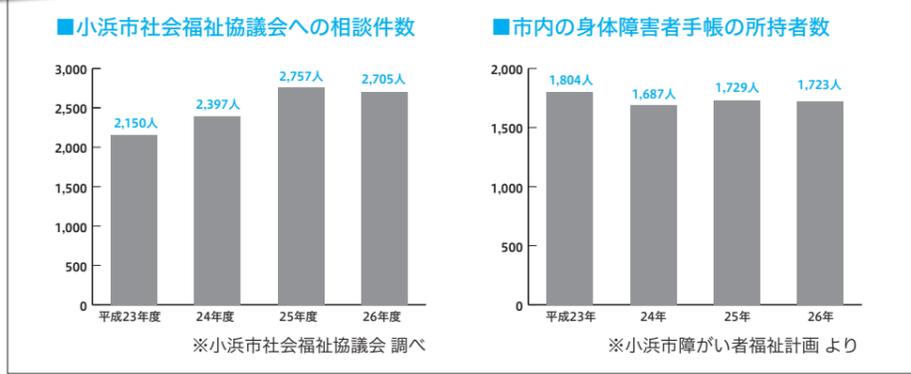
《今月の題字》
ひらたきろし
雲浜小学校6年平田崇視くん



2ページ、3ページの写真ともに、障害者支援施設「第三やすらぎの郷」の利用者が外出して買い物や食事をする際に、サポートをする買物ボランティアと、活動に参加する市内の高校生・小学生（10月7日、14日・駅前町）



データで見る社会福祉の今



特集シリーズ 小浜の今を追う

あなたの その手が 温かい

—買物ボランティアがつなぐ「結」—

人は人との関わりの中で生きている—
福祉はそのような人々の生活の営みを支える役割を担う。
そして、福祉ボランティアは、地域で生きる人々の切実な思いに触れ、
寄り添い、ともに未来へ歩むための道を照らす。
誰もが、自分らしく生きることができる社会へと続く、光となる。

日

本には古くから「結」という言葉があります。田植えや収穫、かぶぶき屋根の吹き替えなどを互いに助け合う仕組みから生まれた言葉です。そこには、報酬や見返りという価値を超えた、「相手のために」、「誰かのために」という、他人を思いやる心から生まれる大きな力があります。それは、日本人が、ずっと昔から身につけてきた相互扶助の「ボランティア精神」と言えます。

一方で、近年、人と人とのつながりが希薄化し、コミュニケーション能力が失われている、という指摘が聞かれます。さまざまな問題を抱えながらも、解決する方法や相談をする相手が見つけれず、生きづらさを感じている人も増えてきていると言います。人は、一人で生きているわけではありません。家族や友人、職場、地域社会の中で、お互いに関わり、支え合いながら生きています。ボランティア活動とは、自分の家族や友人にするように、「ほかの誰かの気持ちに思いを寄せる」ことから始まります。その思いが育ち、「行動」となったとき、社会を変えることのできる大きな力を生み出します。

人と人との関係性を改めて結び直し、新しいコミュニティを築くため、大きな役割を果たす存在として、今、ボランティア活動に注目が集まっています。今回、小浜で、重度のハンディを持つ人の外出支援を行っている「買物ボランティア」の活動を追いました。



買物ボランティア 会長
前田 静江 さん (68 歳・多田)

買物ボランティアの活動を始めて 10 年になります。小学校の給食ボランティアを経て、買物ボランティアに入会しました。市内のスーパーなどで活動している買物ボランティアさんを見て、いつか自分もできるようになればと思っていました。今では、ボランティア活動を通して人とつながり、結びついていくことにやりがいを感じています。

障がいでもうまく話すことができなくても、「たくさん買い物ができるね」などと声をかければニコッと笑ってくださいます。わたしたちの活動で、やすらぎや温もりを感じていただければと思っています。

高校生や小学生の皆さんにも福祉体験として、活動に参加していただいています。これからも皆さんの協力を得て、活動を長く続けていけるよう会員一同願っています。ボランティアの体験希望がありましたら、ぜひご連絡ください。

『買物ボランティア』

昭和 54 年 4 月結成。小浜と若狭町在住の男女 17 人が所属。月 2 回、市内施設に入所する身体障がい者の買物や食事など外出時への介助を行っている。また、施設行事にも参加して、車いすの介助や交流を行っている。近年は、



地元高校生や小学生の福祉体験学習の受け入れも積極的に行っている。平成 27 年 4 月に国の緑綬褒章を受章。

介助者ではなく、友だちとして
18 年前から夫婦で会に参加するようになった松永安司さん。「わたしだって、いずれは誰かに車いすを押ししてもらわなければならぬかもしれない。その分、元気なうちに誰かの役に立てればと思いい活動しています」と、動機を語ります。妻の千弥子さんは、最初、障がいを持つ人とどうコミュニケーションを取ればいいのか分からずに悩んだそうです。「そんなとき、赤尾さんが、友だちと話をするのと同じ感じで接しているのを見たんです。ああ、構えずに友だちになればいいんだと、気持ちが楽になったのを覚えています」。今では、相手の明るさや笑顔に元気をもらおうそうです。

つながりので、より良い世の中に
近年は、福祉体験学習として若狭高校や小浜小学校の生徒も参加するなど、順調に活動を広げられました。5 年前に会に入った松宮さんも大きなやりがいを感じています。「人のために何かをすれば、また誰かが何かを返してくれます。その繰り返しで、人のつながりが、を生き、世の中がより良いものになっていくんだと思います」。一方で、メンバーの高齢化という問題にも直面しています。それでも、会長の前田さんは前を向きます。「皆さんのサポートのおかげで今日まで活動してきました。これからも多くの人とつながって、輪を広げていきたいです」。

Group - 買物ボランティア



ステップ 1
はじめる

踏み出そう 第一歩

活動を始めるのって難しい？いいえ、思いがあれば誰にでもできるんです。

昭

和 54 年から今日にいたるまで、小浜のボランティア団体の先駆けとして活動してきた、「買物ボランティア」の皆さんに話を聞きました。

寄り添い続けて 36 年

「自分の手で買物がしたい」。重度のハンデイを持ち、車いす生活を余儀なくされている施設利用者の声を聞いた社会福祉協議会が参加を呼びかけ、買物ボランティアはスタートしました。

初代会長の赤尾さんは、「ボランティアという言葉も一般的ではなく、障がい者への偏見も根強かったです」と、当時を振り返ります。「売名行為」と心ない非難を浴びることもあったと言います。

同じ創設からのメンバーの寺川さんも、「市内の施設やトイレなど、車いすでは利用しにくいところが多くて大変でした」と、苦勞を話します。

しかし、活動を続けるうちに、次第に認知されるようになり、メンバーも増え始めました。バリアフリーを訴える活動も実を結び、公共施設を中心に、徐々に整備も進んでいきました。

相手の気持ちに寄り添って

わたしも最初は、障がいを持った人にどう接したらいいかわかりませんでした。でも実際に接してみると、仲良くなることができました。これからは、相手の「みんなと同じことをしたい」という気持ちに寄り添い、応えてあげたいです。



まつみや けいこ
松宮 恵子 さん (69 歳・加茂)

わたしたちもうれしくなる

介助をする人の中には、言葉をうまく出せない人もいますが、相手の望むものを買えたときや、一緒に食事をしたときなど、とてもうれしそうな顔をしてくれるんです。それを見てわたしたちも、うれしくなりますね。



まつなが やすし ちやこ
松永 安司 さん (75 歳)、千弥子さん (74 歳・雲浜一丁目)

続けられるだけ続けたい

結成当初は 4 人と、人数が少なかったのですが、今は仲間が増えてうれしいです。家族の理解もあったから今まで活動することができたと思います。相手に喜んでもらえる、わたしもうれしいので、続けられるだけ続けたいです。



てらかわ ひさこ
寺川 久枝 さん (78 歳・今宮)

みんなの声が元気の源

施設利用者のみならず「ありがとう、待ってるよ」という声をもらうたびに、わたしも元気をもらい、36 年間活動を続けてきました。友だちとして、心を割って、笑顔で話し合えるのが、とてもうれしいですね。



あかお まさこ
赤尾 雅子 さん (78 歳・大手町)



小浜市社会福祉協議会 事務局長
田中 恒徳 さん (48 歳・金屋)

手をつなぎ、心に寄り添う支援を

インタビュー

買物ボランティアの皆さんのように、いち個人の願いを社会的な願いと捉えて活動することには、とても大きな意義があると思います。支援を必要とする一人一人のことを、地域全体の問題として感じ、「何ができるか」と考えることが、地域福祉の推進、ひいては誰もが安心して暮らせる地域づくりへとつながります。

支援の中でも、「寄り添う」という伴走型の支援が大切だと思います。前でも後ろでもなく。その人の隣で手をつなぎ、心に寄り添う支援が、いま求められています。

社会福祉協議会では、地域の社会福祉を形成するさまざまな団体と連携しながら、人と人、心と心がつながり、交流する「場所づくり」を進めています。

人と「つながり」、輪を「広げて」、関係を「深める」ことで、徐々に地域が良くなると信じています。



買物ボランティア、高校生ボランティアと一緒に買い物を楽しむ柳本さん (10月7日・駅前町)



第三やすらぎの郷
施設長 山下 良一 さん
(63 歳・深野)

場に立つて考えることが、より良い社会への第一歩になるのではないでしょうかと、思いを口にします。

「誰もが必ず高齢者となり、人生の途中で障がいを受け入れなければならぬときが来るかもしれません。自分だったらどんな支援をしてほしいか。障がい者や福祉関係者だけでなく、地域のみんなでそういう意識を共有していきたいですね。」

第三やすらぎの郷施設長の山下さんは、買物ボランティアを「家族」のようだと話します。

「外出機会の少ない施設利用者さんにとつて、家族のように寄り添い、支えてくれる買物ボランティアの皆さんは、なくてはならない存在です。」

29歳で福祉の世界へ飛び込み、以来34年間、重度の障がいを持つ人と向き合ってきた山下さん。「同じ地域の中で生活するみんなが、お互いに相手の立



第三やすらぎの郷
利用者 柳本 豊嗣 さん
(61 歳)

大事なんです。自分で見て、買ったんだという実感が持てます。」

困っているのは、「行くと、うれしくて買いきすぎてしまうこと」と、笑いながら話してくれました。

ステップ2
つながる

温かな人のつながり

手を伸ばすと、手がつながる。心が触れると、心もつながるんだね。

毎

月2回、買物ボランティアがサポートする形で、障害者支援施設「第三やすらぎの郷」利用者の皆さんは、市内スーパーで買物をしたり、飲食店で昼食を楽しんだりしています。10月7日と14日の2日間、現場に密着しました。

自分の意志で買物をしたい

第三やすらぎの郷に入所して4年目の柳本さん。買物や食事に外出できる回数を尋ねると、「施設には50人以上いるので、半年に1回ぐらい」と、教えてくれました。順番が回ってくる日をとて

も楽しみにしていたと言います。

この日は、本や食品のほかに、友人から頼まれていた飲み物も買えました。「普通だったら当たり前すぎて何も感じないと思う。でも、ぼくたちからすると、外出はとても大切な機会。だから皆さんに付き添いをしてもらえるのが本当にありがたいんです。」

柳本さんは、自分の意志で買物ができることが大切だと話します。

「同じようなものでも、『どれにしようかな』と、自分の意志で買えるのが

みんなが相手の立場に立つて

第三やすらぎの郷施設長の山下さんは、買物ボランティアを「家族」のようだと話します。

うだと話します。

「外出機会の少ない施設利用者さんにとつて、家族のように寄り添い、支えてくれる買物ボランティアの皆さんは、なくてはならない存在です。」

29歳で福祉の世界へ飛び込み、以来34年間、重度の障がいを持つ人と向き合ってきた山下さん。「同じ地域の中で生活するみんなが、お互いに相手の立

トピックス TOPICS

買物ボランティアの結成35周年を祝う合唱曲「青空見れば」が昨年完成しました。第三やすらぎの郷利用者の田中克行さん(40歳)が、買物ボランティアとの交流を胸に、歌詞を書きました。

「青空見れば」

きょうはたのしいショッピング
みんなのかおもにこやかに
ほしいものかいえがおさく
またねのやくそくまちどおしい
ともにあいるそのもとに
こころやすらぐこのばーしょ

(歌詞3番を抜粋)



第三やすらぎの郷で合唱曲を
初披露(平成26年3月11日)

『小浜市社会福祉協議会』

昭和42年4月に社会福祉法人格を持つ民間団体として設立。「あなたの社協に！」を合い言葉に、生活課題を抱える人への相談や支援、ボランティアのサポート、市内の福祉推進校との連携事業などを職員(パート含む)72人を中心に実施している。

住所：遠敷 84-3-4
☎ 56・5800



『第三やすらぎの郷』

昭和53年4月に身体障害者療護施設「友愛園」として開所。平成24年4月に「障害者自立支援法」に基づき事業を変更、あわせて施設名称を障害者支援施設「第三やすらぎの郷」に変更。現在の利用者52人。職員(パート含む)37人でサポートをしている。

住所：深谷 10-13-2
☎ 58・0221



市では、本年3月に「障がい者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として、「小浜市障がい者福祉計画」を改訂しました。現在、障がいのある人もない人も互いに支えながら、住み慣れた地域で安心して暮らし、自分らしく自立した生活を送ることができる共生社会の実現のためにさまざまな施策に取り組んでいます。

そのような中、買い物ボランティアや小学生・高校生の皆さんをはじめとしたボランティアの皆さんが、障がい者の社会参加に大きな力となっています。今後は、このような「支え合うつながりの輪」が、さらに大きな輪となるよう、市民の皆さんや関係機関・団体と連携し、協力しながら取り組んでいきます。

「おんべいの人にならなれよう」を目指して



小浜市役所社会福祉課
なかの じゅんこ
中野 純子 課長 (59歳)

インタビュー



買い物ボランティアの活動に参加する若狭高校1年生(10月7日)と、小浜小学校4年生(10月14日・ともに駅前町)



ステップ3
ひろがる

地域の中へと広がる

そして、その輪は、広がっていく。どこまでも。

買 物ボランティアでは、活動への受け入れも積極的に推進。今では、市内の高校生や小学生も福祉体験学習として参加するようになりました。

多くの人に体験を伝えたい

10月7日⑩、初めて活動に参加した若狭高校1年生の田中さんは、多くのことに気が付いたと言います。
「普段わたしたちが何気なく歩いていく道路でも、車いすだと通りにくい段差があるんだと気が付きました」。
「次に参加するときは自分から話しかけて、もっと楽しんでもらいたいです」と、意欲を口にする田中さん。この体験をほかの人にも伝えたいと話します。
「一歩踏み出して、やってみないと、コミュニケーションを取る楽しさが分からないと思います。自分の言葉で多く



若狭高校
たなか ゆう
1年 田中 優 さん

小 浜小学校では、社会福祉協議会と連携しながら、児童の福祉学習を行っています。今年4年生が1学期に高齢者福祉、2学期に障がい者福祉を学んでおり、10月14日⑩に22人が買い物ボランティアの活動に参加しました。

楽しく買い物ができるように



小浜小学校
きこし
4年 木越 ミズキ さん

会う前は、障がいを持った人を「かわいそう」と感じていたという木越さん。しかし、買い物ボランティアの体験を通して、「かわいそう」のではなく、「困っているんだ」と、気が付いたそうです。
「車いすでは、1人で買い物ができるなし、エレベーターのないお店では、2階に上がることもできないことに気付きました。楽しく買い物ができるように、



小浜小学校
かわら りょうま
4年 河原 稜真 くん

の人にこの体験を伝えたいです。そう話す田中さんの顔は輝いていました。

ボランティアを通して生徒も成長

「若狭高校定時制課程では柱の一つとして、買い物ボランティアへの参加をはじめ、保育体験やイベントスタッフなど、さまざまな市内のボランティア活動に取り組んでいます」と、若狭高校教諭の寺本先生は話します。
「生徒たちは、最初は戸惑いも見せますが、活動する中で、相手からお礼を言ってもらうことが、やりがいになっていくようです」。



若狭高校
てらもと こうし
教諭 寺本 幸司 さん
(40歳・高浜町)

「ボランティアを通して地域社会への貢献はもちろん、市民の皆さんと交流し、輪が広がることが、生徒が卒業した後、地域で生きていくときにも役立つと思います」と、期待を込めました。

話しかけながら、お手伝いをしました。同じく参加した河原くんは、車いすを押していて、「曲がるときに、思った以上に力が要りました」と、活動の大変さを実感しました。
大変さの中にもやりがいを見つけたそう、「家の周りでも、身体の不自由な人がいたらお手伝いしたいです」と、笑顔で話してくれました。

人並みの幸せをもたらしてくれた

生後半年で病気にかかり、その後、一歩も歩けなくなつたという施設利用者の小堂さん。この日の買物終了後に、買い物ボランティアの皆さんと子どもたちを前に、「36年間もの長い年月、買い物ボランティアの皆さんの助けがなかったら、わたしたちに人並みの幸せがもたらされることはなかったです」、「皆さんの尊い行いは、常に弱い立場の者を案じてくださるもので、心より深く感謝しています」と、感謝の気持ちを伝えました。



第三やすらぎの郷
こだう ふみたま
利用者 小堂 博文 さん
(86歳)

誰もが自然と手を伸ばせる社会に

人間は、身近にハンディのある人がいて、接することで、初めて何に困っているかを知り、障がいや要介護、要支援への理解が深まります。一方で、障がいを持つ人は気軽に外出などできず、閉じ込めりがちなのが現実です。そんな中で、障がい者の外出を後押しして、ごく普通に生活できるような社会を推進する「買物ボランティア」が地域で果たす役割は大きいと思います。地域を良くしていくには、そこに住む住民のパワーが必要不可欠です。地域の中にある課題を住民

自らが感じて、考えていけるような仕組みづくりこそが今後の行政が担うべきところでしょう。住民、行政、社会福祉協議会が手を取り合い、協力・協働することでより良い地域社会へと発展していきます。これまでは、当事者も「助けて」と声を出しにくかった。それが言えない、言わせない社会は利己的な社会ではないでしょうか。目の前に困っている人がいて、手を伸ばせば助けられる。そんなときに、誰もが自然と手を伸ばせる社会が一番すばらしいと思います。



立教大学 コミュニティ福祉学部 社会福祉学科
教授 **芝田 英昭** さん (58歳・埼玉県)
敦賀市出身。立命館大学産業社会学部教授を経て平成21年より現職。専門は社会保障論。

INTERVIEW
インタビュー

より良い社会を目指して

これからの地域を作るのは、わたしたちの心と行動です。

ステップ4
これから

多くの人と手を取り合って活動を

小浜のボランティア活動は、買物ボランティアをはじめとした福祉関係の団体が先駆的な存在として、引っ張ってききました。その後、まちづくり系のボランティアが増えてきて、現在はさまざまなジャンルの団体が活動をしています。以前は、ボランティアといえば無料のお手伝いのようなイメージを持たれていました。しかし、最近では、個々に目的意識を持って活動していることが広く認識されるようになってきました。今後は、さらにステップアップ

して、行政や事業者との協働の担い手として、地域のニーズに応え、課題解決に向けて取り組めるようになっていくと思います。そのためには、各団体が自分たちだけでやるのではなく、幅広く色々な人たちと手を取り合って活動することが大切だと思います。小浜には、立場の違う人同士でもみんな協力し合える風土があります。形にこだわらずに、新しいことに挑戦して、活動を広げていくと、組織も地域もさらに活性化していくのではないのでしょうか。



NPO法人WACおばま
代表 **鳥居 直也** さん (54歳・雲浜一丁目)
平成16年にWACおばまを設立。ボランティア団体の中間支援やまちづくりに取り組む。

誰もが自分らしく暮らせる社会を目指して

誰もが自分らしく、生き生きと暮らせる社会。それを願わない人は誰もいません。しかし、現実の社会がそうなるためには、多くのハードルが存在するのも事実です。

ボランティア活動とは、それらの出来事に立ち向かい、地域で暮らす誰もが幸せになるためのまちづくりの手段だといえます。

誰もが、本格的なボランティア活動をできるわけではありません。ただし、自分の身の回りで少し困っている人に手を差し伸べることで、ちょっとした声をあげてみることで、活動する人を応援すること。あなたの、ほんの少しのステップが、地域にとつての大きな一歩となります。

わたしたち一人一人が、自分のできることから取り組み、支え合い、助け合うことが、より良い社会の実現へとつながっていきます。

【買物ボランティアに参加する】
小浜市社会福祉協議会には、買物ボランティアをはじめ、病院ボランティアや点字サークル、手話サークルなど15の団体が登録しています。興味のある人は、社会福祉協議会 ☎ 56・5800まで

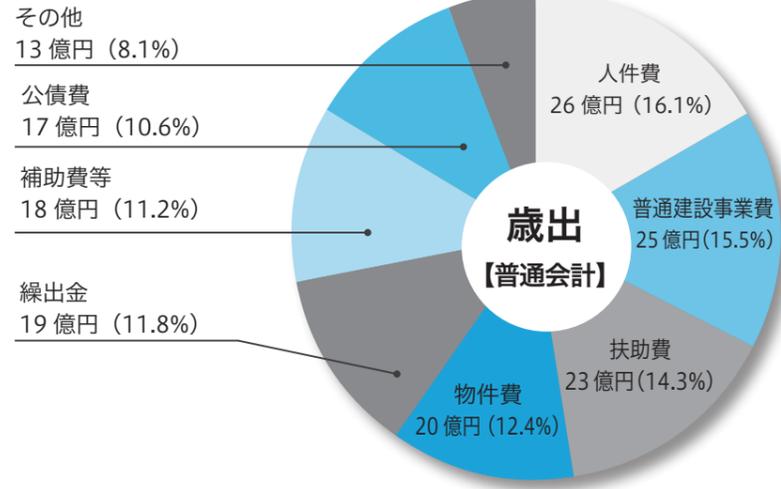
【まちづくり活動に参加する】
小浜市ボランティア・市民活動交流センターには、文化や芸術、スポーツなど27の団体が登録し、まちづくり活動を行っています。興味のある人は、市ボランティア市民活動交流センター ☎ 52・7837まで

【寄付をする】
市役所、共同募金委員会(サン・サンホーム小浜内)、市内協力店などに赤い羽根の募金箱を設置しています。街頭募金や区を通じた戸別募金など行っていますので、皆さんのご協力をお願いします。

【参考文献】
「新・社会福祉とは何か」 大久保秀子・著/中央法規出版
「福祉ボランティア論」 三本松政之、朝倉美江・編/有斐閣アルマ
「よくわかる障害者福祉」 小澤温・編/ミネルヴァ書房
「人が集まるボランティア組織をどうつくるか」 長沼豊・著/ミネルヴァ書房
「お互い様のボランティア」 マリ・クリスティーヌ・著/ユック舎
「欲望としての他者救済」 金泰明・著/NHKブックス
「弱者はもう救われないのか」 香山リカ・著/幻冬舎
「さらさらさん」 大野更紗・著/ポプラ社

普通会計とは？

全国の市区町村には、それぞれ特有の状況があるため、右ページの一般会計を単純に比べても、正確な比較をすることはできません。
そのため、全国一律の基準によって、他の市区町村と比較できるようにしたのが、「普通会計」です。



主な事業



やまなみ保育園の開園
1億6,862万円

雲浜保育園と西津保育園を統合、民営化し、やまなみ保育園を開園しました。



食のまちづくりを更に推進
1億3,784万円

食文化館のリニューアル工事や、海のガーデン、七輪焼き広場などを整備しました。



小浜地区中・西部地域の整備
9,537万円

小浜地区中・西部地域の整備に向けた測量設計や、香取ポケットパークを整備しました。



防災行政無線の整備
1億6,539万円

防災情報を伝達するための、同報系デジタル防災行政無線を整備しました。



便利な下水道へ
8億2,744万円

公共下水、農業集落排水、漁業集落排水事業の運営のための繰出しを行いました。



より良い公立小浜病院へ
6億1,109万円

公立小浜病院の円滑な運営のため、負担金を支出しました。

自然光利用型の連棟ハウスの整備
2億9,730万円
農業生産の拡大、雇用の促進のため農業生産法人が行う周年栽培型大規模ハウス整備を支援しました。

(仮称) 東部小学校の建設準備
2億7,402万円
(仮称) 東部小学校の建設に向けた設計業務や用地買収、物件補償を行いました。

中学校の耐震化工事
2億6,211万円
小浜中学校と小浜第二中学校の耐震化工事を実施しました。

決算報告

平成26年度

市の平成26年度決算がまとまりました。市民の皆さんからの税金などが、昨年度どのように使われたのかをお伝えします。

■問い合わせ 財政課 ☎内線 334

※四捨五入した数字を使用しているため、合計が一致しない場合があります。

一般会計

歳入総額 **166億円**

差し引いた約5億円が実質的な黒字となります。

歳出総額 **161億円**

地方交付税 51億円 (30.7%)

人口や税収に応じて国から配分されるお金



市税 37億円 (22.3%)

前年の所得や所有する土地などに応じて市民から納めてもらう税金や、会社からの法人税

市民1人あたりの市税負担
約12万円

やまなみ保育園の建設や、臨時福祉給付金などにより、前年度から6.6%増加しました。

防災行政無線の整備などにより、前年度から10.6%増加しました。

固定資産税や法人市民税の増加により、前年度から0.3%増加しました。

民生費 43億円 (26.7%)

子どもや高齢者、障がい者などの福祉に使われる経費



総務費 20億円 (12.4%)

行政の運営や市税の賦課・徴収、庁舎や財産の維持管理などに使われる経費

衛生費 17億円 (10.6%)

ごみの収集や、市民の皆さんの健康のために使われる経費

教育費 17億円 (10.6%)

学校教育や生涯学習などのために使われる経費

公債費 17億円 (10.6%)

市債(借入金)を返済するために使われる経費

土木費 17億円 (10.6%)

道路や公園、市営住宅などを管理・整備するために使われる経費

その他 30億円 (18.5%)

商工業や農林水産業、災害復旧のために使われる経費など

国庫支出金 19億円 (11.5%)

国から配分されるお金

県支出金 17億円 (10.3%)

県から配分されるお金

市債 15億円 (9.0%)

財政収入の不足を補う借入金

諸収入・繰入金等 14億円 (8.4%)

基金からの繰入金など

その他 13億円 (7.8%)

施設の使用料など

今富公民館の建設や、小学校の耐震化工事の終了により、前年度から7.9%減少しました。



うち、自然光利用型の連棟ハウス整備事業などにより、農林水産業費が19.3%増加しました。

小浜市土地開発公社

※公有地となるべき土地の適正な管理などを行なうため設立された市が出資する法人

【損益計算書】

事業原価	4,039 万円	事業収益	2,528 万円
販売費・一般管理	18 万円	事業外収益	96 万円
事業外費用	552 万円	当期純損失	1,985 万円
計	4,609 万円	計	4,609 万円

【貸借対照表】

流動資産	8 億 3,796 万円	流動負債	1 億 8,700 万円
固定資産	11 万円	固定負債	6 億 6,300 万円
		資本金	400 万円
		欠損金	1,593 万円
計	8 億 3,807 万円	計	8 億 3,807 万円

第 3 セクター

※国・地方公共団体と、民間事業者との共同出資により設立された法人

おばま観光局

観光おもてなし基盤づくりを推進する「株式会社まちづくり小浜（おばま観光局）」の決算と、取り組みの概要をお知らせします。

【経営状況】

平成 26 年 7 月の舞鶴若狭自動車道全線開通を見据えた道の駅「若狭おばま」物販施設の増床リニューアル、商品数・種類数などの充実にも努めたことなどから、道の駅単独の売り上げで 1 億 4,800 万円を上回る事ができました。

市営駐車場の指定管理事業については、売り上げが伸びておらず、顧客の新規開拓が課題となっています。

㈱まちづくり小浜全体の経営状況としては、429 万円の当期純利益を上げることができました。

【損益計算書】

営業費用	8,528 万円	営業収益	9,093 万円
営業外費用	1 万円	営業外収益	22 万円
法人税等	157 万円		
当期純利益	429 万円		
計	9,115 万円	計	9,115 万円

【貸借対照表】

流動資産	5,664 万円	流動負債	2,739 万円
固定資産	469 万円	固定負債	175 万円
		資本金	2,500 万円
		利益剰余金	719 万円
計	6,133 万円	計	6,133 万円

【主な取り組み】

- 観光誘客ツーリズム商品の開発・発信
 - ・「てんこもり小浜フェスタ」など、小浜の魅力をアピールするイベントや観光プランを企画・集約し、発信しました。
 - ・「若狭おばまお魚まつり」や「若狭のスイーツ☆スタンプラリー」の実施、「鯖寿司食べ歩きクーポン」の発行など、「食」を切り口とした観光プログラムを展開しました。
 - ・阿納区での新たな海体験プラン「シーカヤック体験」プログラムの開発に取り組み始めました。
- 地域活性化への取り組み
 - ・まちづくり市民幹事会や KISUMO 小浜など、市の活性化を担う市民有志と協働し、様々な賑わい創出事業を実施しました。



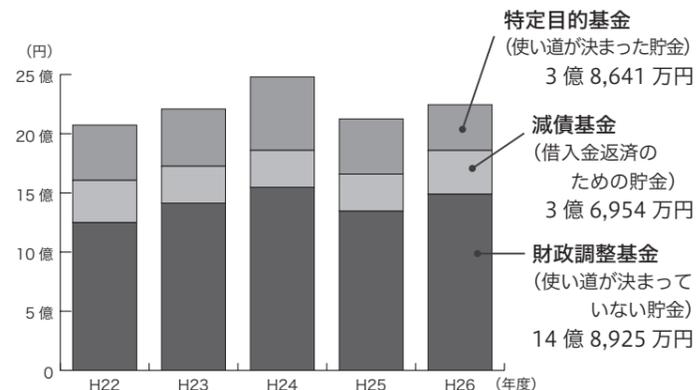
シーカヤック体験の様子

■問い合わせ おばま観光局 ☎ 56・3366

基金（貯金）残高の状況

平成 26 年度末残高 22 億 4,520 万円
市民一人当たり 約 7 万 4,000 円

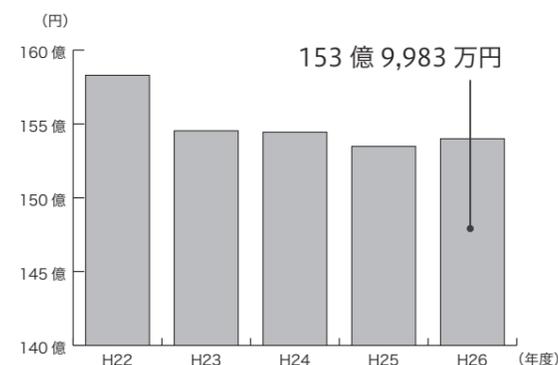
前年度は災害復旧事業に充てるため、財政調整基金を 2 億 241 万円取り崩しましたが、26 年度は今後の大型事業などに備えるため、財政調整基金に 1 億 4,348 万円、減債基金に 5,675 万円を積み立てました。



市債（借入金）残高の状況

平成 26 年度末残高 153 億 9,983 万円
市民一人当たり 約 50 万 6,000 円

中学校の耐震化や、防災行政無線の整備のため市債を借り入れたことで、前年度から 5,223 万円増加しました。今後も、(仮称) 東部小学校の建設や、国体への準備のため、増加する見込みです。



※人口は 30,456 人（平成 27 年 3 月末現在）

企業会計と特別会計

市の会計には、一般会計のほかに、企業会計が 1 会計（水道事業）、特別会計が 8 会計あります。

企業会計とは、民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計です。

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理を行う会計です。特別会計では、使用料や保険料などの収入が主な財源になります。

水道会計

【損益計算書】

営業費用	3 億 5,312 万円	営業収益	4 億 590 万円
営業外費用	4,867 万円	営業外収益	8,320 万円
特別損失	2,839 万円	特別利益	13 万円
当年度純利益	5,905 万円		
計	4 億 8,923 万円	計	4 億 8,923 万円

【貸借対照表】

流動資産	5 億 1,890 万円	流動負債	1 億 9,983 万円
固定資産	64 億 9,535 万円	固定負債	18 億 7,614 万円
		繰延収益	27 億 260 万円
		資本	22 億 3,569 万円
計	70 億 1,425 万円	計	70 億 1,425 万円

特別会計

会計名	歳入額	うち一般会計繰入金	歳出額	差し引き
国民健康保険事業	31 億 9,548 万円	1 億 8,550 万円	31 億 7,012 万円	2,536 万円
後期高齢者医療	3 億 5,067 万円	1 億 769 万円	3 億 4,920 万円	147 万円
介護保険事業	31 億 5,891 万円	4 億 4,432 万円	31 億 65 万円	5,826 万円
簡易水道事業	9,681 万円	2,279 万円	9,425 万円	256 万円
下水道事業	17 億 3,681 万円	6 億 785 万円	16 億 6,275 万円	7,406 万円
農業集落排水事業	4 億 5,216 万円	2 億 834 万円	4 億 4,742 万円	474 万円
漁業集落環境整備事業	5,316 万円	1,125 万円	5,074 万円	242 万円
加斗財産区運営事業	33 万円	0 万円	2 万円	31 万円

㈱ケーブルテレビ若狭小浜

【損益計算書】

営業費用	3 億 1,697 万円	営業収益	3 億 7,499 万円
営業外費用	425 万円	営業外収益	475 万円
法人税等	1,997 万円		
特別損失	109 万円		
当期純利益	3,746 万円		
計	3 億 7,974 万円	計	3 億 7,974 万円

【貸借対照表】

流動資産	4 億 3,154 万円	流動負債	2,952 万円
固定資産	3 億 8,503 万円	固定負債	3 億 6,358 万円
繰延資産	130 万円	資本金	4,000 万円
		利益剰余金	2 億 6,477 万円
		積立金	1 億 2,000 万円
計	8 億 1,787 万円	計	8 億 1,787 万円

㈱小浜市総合卸売市場

【損益計算書】

営業費用	1,384 万円	営業収益	1,482 万円
営業外費用	33 万円	営業外収益	79 万円
法人税等	49 万円		
当期純利益	95 万円		
計	1,561 万円	計	1,561 万円

【貸借対照表】

流動資産	2,617 万円	流動負債	412 万円
固定資産	1 億 4,802 万円	固定負債	2,140 万円
		資本金	8,000 万円
		利益剰余金	6,867 万円
計	1 億 7,419 万円	計	1 億 7,419 万円



17年に1度の御開帳

深野薬師堂での薬師如来像の御開帳に合わせて、深野神楽保存会が神楽を奉納（深野・9月23日）

「小浜線キャラ号6」走る

JR小浜線に嶺南6市町のゆるキャラを描いたラッピング電車が運行（JR小浜駅・10月11日）



ワクワク広場面白塾が開催

保育園児や小学生20人が、迷路や平均台を使ったタイムアタックに挑戦（羽賀パレット・9月22日）



食のまちで食のまつり

「OBAMA 食のまつり」が開催され、全国のご当地グルメの屋台が並ぶ（川崎三丁目・10月11日）



動物と暮らすということ

県と県獣医師会が「動物愛護フェスティバル」を市で初めて開催（若狭総合公園・9月23日）



日本遺産をぜひ歩いて！

鯖街道歴史研究会が、針畑越えルートを案内した「鯖街道ガイドマップ」を発刊（市庁舎・10月15日）



やさしさいっぱい！まちなか夢通り

嶺南西特別支援学校生徒によるへしこおにぎりの試食会など多数の催しが実施（駅前町・10月11日）



松永の食材で魅力をPR

夢わか市で、松永小学校5・6年生が手作りのクッキーとジュースの試食会を実施（門前・10月11日）



みんなでウォーキング

「県民スポーツ祭 ウォーキング大会」に県内外から76人が参加し、市内を歩く（香取・10月4日）

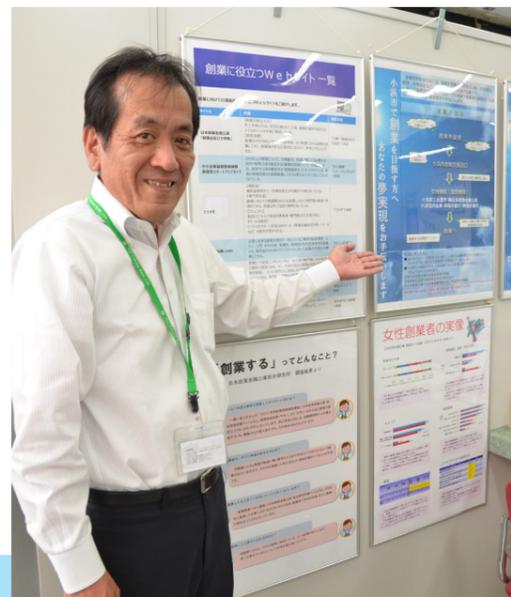
街道がつなぐ出会いのまちづくり

全国街道交流会議第10回全国大会が開催。14自治体の首長や関係者300人が参加（白鬚・10月16日）



パネル展で創業希望者を発掘

市と小浜商工会議所、金融機関などが連携して「創業応援フェア」を開催（大手町・10月15日）



国体で輝かしい成績

紀の国わかやま国体で好成績を収めたボート競技の選手と監督14人が表敬訪問（市庁舎・10月13日）



不妊治療費の助成

健康管理センター☎52・2222

市では、一夫婦あたり年度内1回30万円を限度に、不妊治療費の2分の1を助成しています。

本年度中に申請する場合は、必ず12月25日☎までに一度ご連絡をお願いします。

※県の助成が優先されます。詳細は健康管理センターへ問い合わせてください

お知らせ

福井県最低賃金の改定

商工観光課

福井県最低賃金が、10月1日をもって、以前の時間額716円から時間額732円に改正されました。

使用者も労働者も、働くすべての人が最低賃金額を保障されているか必ずチェックしましょう。

※時間給の場合は、「時間給≧最低賃金額」となっているか、日給や月給の場合は、「日給(月給)÷1日(1カ月)の平均所定労働時間≧最低賃金額」となっているかでチェックしてください

※詳しくは、県労働局労働基準部賃金室☎0776・22・2691まで

農業委員会委員の公選制廃止

総務課☎内線352

「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律」の施行により、農業委員会の委員の公選制が廃止され、市長による選任制に変更されました。

これにより、平成27年9月4日以後は、農業委員会の委員の選挙を行いません。

※現在在任中の農業委員会の委員は、任期満了まで在任となります

特定健診受診率向上事業

健康管理センター☎52・2222

本年度まだ特定健診を受けていない人は、かかりつけの医療機関から検査データを直接提出してもらえると、特定健診を受けたことになります。

対象 次の要件を満たす人
①市国民健康保険加入の40歳～74歳の人
②定期的に医療機関にかかっている人(5月～8月診療分)

※対象の人には、10月下旬に届出用紙を送付しますので、署名のうえ、医療機関に提出してください

ひとり親家庭の巡回養育費相談

社会福祉課

ひとり親家庭を対象に、養育費に関する相談会を実施します。養育費のことで悩んでいる人は養育費相談員に相談してください。

とき 11月10日☎ 13時～15時

ところ あいあいプラザ(敦賀市東洋町)

※相談無料、秘密厳守です
※電話での相談は、☎0770・22・1700で受け付けています

赤十字健康生活支援講習会

社会福祉課

とき 11月12日☎、13日☎、14日☎

いずれも10時～16時

ところ 若狭ふれあいセンター(日吉)

内容 健やかな老年期を過ごすために役立つ知識や、高齢者のお世話のしかた、病人の看護方法などの技術

対象 満15歳以上なら誰でも

料金 1,000円(教本・保険代)
※昼食を持参してください
※申し込みは、11月6日☎までに社会福祉課☎内線183まで

健康・福祉

生活習慣病検診

健康管理センター☎52・2222

本年度最後の検診です。まだの人はぜひ受診してください。

とき 11月20日☎、25日☎、30日☎、12月8日☎、9日☎

ところ 健康管理センター(南川町)
※11月25日は今富公民館(和久里)

内容 特定(基本)健診、がん検診(肺・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺)、C・B型肝炎ウイルス検査、骨検診
※11月20日、12月9日は子宮頸・乳の検診なし。12月8日は胃の検診なし

申込期限 検診日の7日前まで
※特定健診は、加入の健康保険者が発行した受診券が必要です



プレパパ&プレママ講座

健康管理センター☎52・2222

とき 12月2日☎、16日☎、19日☎

いずれも10時～12時

ところ 健康管理センター(南川町)

※18日はcafé watoto(忠野)

内容 2日:育児編「ミュージックケアでリフレッシュ、育児を楽しむには」

16日:栄養編「妊娠中からのからだづくり」

19日:妊娠編・出産編「胎児との絆をつくり、産む力を身につけよう」
※申し込みは健康管理センターまで

海の駅フェスタ

食のまちづくり課☎内線375

小浜の食を満喫できる食のイベントを開催します。楽しい企画がいっぱいなので、ぜひ来てください。

とき 11月1日☎ 10時～15時

ところ 小浜市総合卸売市場(川崎二丁目)周辺、食文化館(川崎三丁目)

内容 あんこう汁販売、マグロ解体ショー、七輪焼き広場、昭和の遊び、バルーンアートショーなど

消費生活講演会

生活安全課☎64・6007

振り込め詐欺などの架空請求、携帯電話やインターネットのトラブルなど、複雑多様化する悪質商法の手口や対処法について学ぶ講演会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 11月6日☎ 19時～20時30分

ところ 働く婦人の家(大手町)

講師 林家カレー子さん(漫才師)

料金 無料

REINAN 国際交流のつどい

商工観光課

嶺南在住の日本人、外国人が一同につどい、交流するイベント「REINAN 国際交流のつどい2015」を開催します。

とき 11月8日☎ 10時～15時

ところ プラザ萬象(敦賀市東洋町)

内容 各国の踊り、はしご車・煙体験などの防災体験、民族衣装の試着、世界のお菓子販売など

※小浜からの送迎バスへの乗車を希望する人は、11月2日☎までに県国際交流嶺南センター☎0770・21・3455に申し込んでください(定員に達し次第締切)

平成27年度小浜市表彰式

総務課☎356

市に功労のあった人や団体に対する表彰式を行います。多くの皆さんの来場をお願いします。

とき 11月3日☎☎ 10時～

ところ 文化会館(大手町)

若狭東高校生の1日限定カフェ

商工観光課☎内線225

若狭東高校の生徒が、はまかぜ通り商店街の空き店舗を利用して、1日限定のカフェを開きます。

ビジネス情報科の3年生がコーヒーを挽きますので、気軽に来て下さい。

とき 11月14日☎ 10時～15時

ところ 旧きょうわストア(駅前町:秋吉小浜店横)

つきイチ『バラエティー』

文化会館☎53・9700

お昼休みのひととき、皆さん誘い合わせて気軽に来てください。

とき 11月17日☎ 12時20分～13時

ところ 庁舎市民ホール(大手町)

内容 ミュージックフレンズによる「オータム・コンサート」

料金 無料



イベント

暮らしの講演会

生活安全課☎64・6007

食と防犯の観点から暮らしのあり方をひもとく講演会を開催します。

とき 11月8日☎ 13時30分～15時

ところ 中央公民館(大手町)

内容 食習慣と生活の質の関連性について、防犯お役立ち傾向と対策

料金 無料

商工会議所青年部 講演会

小浜商工会議所☎52・1040

とき 11月28日☎ 16時～17時30分

ところ 働く婦人の家(大手町)

内容 「新日本海時代をどう生き抜くか～海洋から地方創成を～」

講師 手嶋龍一さん(外交ジャーナリスト、作家)

料金 無料

市立図書館 今月のイベント

しりつとしゃかんおはなしかい

とき 11月14日☎
①10時30分～
②11時～
③14時30分～

内容 ①「よちよちおはなしかい(0～2歳向け)」、②と③は「なかよしおはなしかい(3歳以上向け)」

「風夢」大人のための読み聞かせ会

とき 11月22日☎ 14時～



「風夢」のおはなし会

とき 11月28日☎ 11時～

■問い合わせ 市立図書館☎52・1042

**フレッシュズ応援
セミナー & 交流会**
商工観光課

新入社員の職場定着と、早期戦力化を図ることを目的に、セミナーと交流会を開催します。

とき 11月27日(金)
13時30分～17時30分

ところ 四季菜館(和久里)

内容 オリエンテーション、グループワーク

対象者 入社半年～1年前後の新入社員

参加費 無料

※申し込みは、ふくいジョブカフェ ☎0776・32・4560 まで

無料税務相談会
小浜税務署 ☎52・6506

11月11日から17日までの「税を考える週間」行事の一環として、無料税務相談を実施します。

とき 11月11日(金)、12日(土)
10時～16時

ところ 若狭図書学習センター(南川町)



年金セミナー
県労働者福祉基金協会 ☎0776・22・6222

60歳前後の県内勤労者を対象に、年金セミナーを実施します。

とき 11月8日(日)
9時30分～12時30分

ところ 商工会議所(大手町)

講師 青垣智則さん(社会保険労務士)

申込先 福井県労働者福祉基金協会 ☎0776・22・6222

※終了後に、個別相談の時間を設けます

適職診断セミナー
商工観光課

就職や再就職を考えている若者を応援するセミナーを開催します。

とき 11月7日(土)：敦賀市男女
ところ 共同参画センター(敦賀市三島二丁目)

11月12日(金)：おおい町総合
市民センター(おおい町本郷)

いずれも13時30分～16時30分

内容 適職傾向や個性を診断し、キャリアアドバイザーがフィードバック

対象者 16歳～39歳の人

※申し込みは、7日はミニジョブカフェ敦賀 ☎0770・23・5416、12日はミニジョブカフェおおい ☎0770・52・3542 まで



公民館非常勤職員
生涯学習スポーツ課 ☎64・6033

受験資格 普通自動車運転免許取得者で、パソコン操作ができる人

募集 23人

雇用期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
※最長3年間雇用の可能性あり

勤務先 市内の公民館

報酬 月額14万円

試験日 平成28年1月17日(日)

申込期間 11月24日(日)～12月9日(日)

女性の人権ホットライン
地方労務局人権擁護課 ☎0776・22・4210

悩みを持った女性が気軽に相談できる専用の電話相談窓口です。法務局職員または人権擁護委員が相談に応じます。

とき 11月16日(日)～22日(土)
8時30分～19時
(21日(土)～22日(日)は10時～17時まで)

相談先 ☎0570・070・810

堆肥の無償提供

国土交通省では、春と秋に、堤防の点検のため草の刈り取りをしています。今回、資源の有効活用を目的として、堆肥化を行い無償提供(一人10袋まで)します。

とき 11月22日(日)
10時～15時(雨天決行)

ところ かみなか農楽舎 収穫祭会場内(若狭町安賀里)

※袋および袋詰め用のスコップは持参してください

※堆肥の袋詰めおよび積み込み・運搬は、来場者にて行ってください。なお、安全には充分配慮してください

※堆肥は一定の臭気がありますので、持ち帰る際は気をつけてください



■問い合わせ 福井河川国道事務所 北川出張所 ☎56・1764

**全国瞬時警報システムの
全国一斉情報伝達訓練**
生活安全課 ☎64・6006

「Jアラート」の全国一斉情報伝達訓練が実施されます。当日は、各家庭の個別受信機や屋外スピーカーから、大音量による情報伝達訓練を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

とき 11月25日(日) 11時開始

※「Jアラート」とは、弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を瞬時に伝達し広報する警報システムです

労働保険適用促進強化期間
商工観光課

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。労働保険(労災・雇用)には、労働者を一人でも雇用しているすべての事業主が加入しなければなりません。まだ加入していない事業主の方は、速やかに加入手続きを行ってください。

※事業主に代わって労働保険事務組合が加入の事務手続きなどを行う事務委託制度もあります

※問い合わせは、小浜公共職業安定所 ☎52・1690 まで

募集

季節の調理体験～11月編～
御食国若狭おばま食文化館 ☎53・1000

とき 11月10日(日)、12日(日)、14日(土)
いずれも10時～13時

ところ 食文化館(川崎三丁目)

内容 基本のちらし寿司、焼サバ寿司、サラダ巻き

定員 各先着30人

参加費 700円

申込期限 実施日の3日前

税を考える週間の作品展示
小浜税務署 ☎52・6506

11月11日から17日までの「税を考える週間」を記念して、作文や絵はがきの展示を行います。

とき 11月7日(土)～18日(日)

ところ 若狭図書学習センター(南川町)

展示物 中高生による税についての作文入賞作品、小学生の税に関する絵はがき入賞作品など

児童虐待防止推進月間
社会福祉課 ☎64・6013

「もしかして虐待?」と思ったら、ためらわずに連絡してください。あなたの電話が、子どもの命を救います。

【連絡先】
児童相談所全国共通ダイヤル ☎189(いちはやく)

**河川などの水質検査結果
全地点でおおむね良好**
上下水道課 ☎内線236

市では、河川や下水路の水質検査を毎年実施しています。

【検査地点】
弁天川、堀川、多田川、森川、竹原3号水路、青井川雨水きよ、遠敷・今富の下水路の14地点

【検査結果】

- ① pH(水素イオン濃度)：全地点において水質が最も良い類型に相当
- ② SS(浮遊・懸濁物質)：全地点において水質が最も良い類型に相当
- ③ BOD(生物化学的酸素要求量)：14地点中3地点が水質が最も良い類型、11地点が2番目または3番目に良い類型に相当

※環境省「生活環境の保全に関する環境基準」を参照

個人住民税 特別徴収のお願い

県および県内全市町では、平成28年度から、個人住民税の特別徴収完全実施に取り組みます。

対象の事業所には、11月中旬に指定通知書を送付します。

対象 原則として、所得税の源泉徴収義務のある事業者で、総従業員数3人以上の事業所

※総従業員数10人未満の場合、「全員普通徴収届出書」を提出すれば、28年度に限り猶予期間を設けます

特別徴収でより便利に!

・従業員は、納税のために向く必要がなく、納付忘れもありません。

・年4回払い(普通徴収)から年12回払い(特別徴収)となるため、1回あたりの負担額が少なくなります。

※特別徴収とは、従業員の個人住民税を、給与支払者が毎月給与から天引きし、市に納める制度です

※従業員ごとの税額は、市で計算して5月中旬に通知します。それをもとに、毎月給与天引きし、事業所ごとに納入してもらいます

■問い合わせ 税務課 ☎内線135

気軽に話しかけられる存在に

（株）福邦銀行に入行して3年目となる松尾さんは、現在、窓口業務を担当しています。「大学時代に、すごく地元に戻りたくなくて、Uターンを決めた。昔から、地元の人と行事などとの話をするのが好きだったんです」。今の職場を選んだきっかけについては、「当行の地域密着という理念が魅力的だったことに加えて、就職活動の中で出会った人事担当者が、すごく明るくて元気な女性で、私もこの一員になりたい、と強く思ったんです」と、話します。現在、家庭を持ちながら



勤務先 (株) 福邦銀行
まつお 松尾ひとみさん
(25歳・水取一丁目)

ら管理職を務めているその先輩は、今も彼女の目標とする人物だそうです。仕事のやりがいについて、「窓口でまた顔を見にくるわ、なごお客様に気軽に言っていただけ時は、地域の人と仲良くなれているのかな、といううれしさを感じましたね」と、接客業ならではのエピソードを語ります。今後の目標については、「いろいろな人から『福邦の松尾さん』と呼ばれて、道で会っても気軽に話しかけられるような存在になりたいですね」と、笑顔で話してくれました。

応援されるチームを目指して

小浜中学校野球部でキャプテンを務める小原くん。先に野球を始めていた兄に憧れて、小学校3年生のときに地元の少年野球に入団。中学校では、チームのシヨートを守ります。「打って、走って、守って。野球の全部が好きです」と、笑顔を見せます。先輩が引退した後、8月にキャプテンに抜擢。最初は驚いたそうですが、友だちが副キャプテンとして支えてくれるため、「心強く、がんばろうと思った」と話します。2年生14人、1年生9人の新チームを引っ張ります。



野球部 キャプテン
おはら さんしろう 小原三四郎くん
(小浜中学校2年生)

平日の放課後と土曜日の午前中は野球の練習に汗を流し、日曜日はテレビ番組で外国の風景を見て息抜き。将来は、色々な国を旅行して世界遺産を見て回りたいと目を輝かせます。憧れは、阪神タイガースの関本選手。「存在感がすごい。ほくも走塁や守備を磨いて、もっとうまくなりた」と、話します。これからの目標を尋ねると、「あいさつや返事という基本がしっかりできて、みんなに応援されるチームを目指しています」と、力強い答えが返ってきました。

地域の人が集まる場所として

旧小学校を活用した工房から、木を削る機械の音が山間にこだまします。家具職人の栗本泰佑さんです。大阪でのサラリーマン生活から一念発起して、家具職人に転身。平成26年4月に両親の出身地であった小浜に夫婦で移住、栗本家具工房を開きます。理由を聞くと、「営業の仕事がずっとしていましたが、自分が作り手になりたいという思いが強くなったんです。家具や小物など、国産材を使った地産地消のものづくりをしています」と、笑顔で話してくれました。



アトリエにじのわ
くりもと たいすけ 栗本泰佑さん
(36歳・門前)

同年8月には、旧小学校であるこの場所を地域の人が集まる場所として再生させたい」という思いから、夫婦で『アトリエにじのわ』を立ち上げ。各団体と連携しながら、手づくり市や映画の上映会、音楽ライブなどを定期的に開催しています。小浜の豊かな水や空気の中で、自然とつながり人間らしく生きていることを実感しているという栗本さん。「妥協をせず、こうしたいと思った自分の心に正直に歩んでいきたいです」と、意気込みを話してくれました。

夏のコンクールで金賞を

部員数43人と大所帯の小浜第二中学校ブラスバンド部で部長を務めるのは、2年生の芝田さん。楽器は、部内でただ一人のコントラバスを担当しています。「みんなができない楽器を演奏できるようにすれば」との思いで担当楽器を選ぶと、現在まで、先輩に教わったり、演奏動画をスローモーションで見たり研究したりと、日々上達するために励んでいます。部の活動は週に5日。コンクールが無い時期は、地域のイベントなどで演奏する曲の練習を行っています。



ブラスバンド部 部長
しばた ふみか 芝田郁香さん
(小浜第二中学校2年生)

「新チームになってからまだ日が浅いので、部のまとまりを強くすることが今の課題です」と、話す芝田さん。今の立場になって、改めて前部長のすこさを実感しているそうです。「前部長は、新チームになってすぐに、部をしっかりまとめて、それからも常に、良い緊張感に包まれた活動ができていました」。今後の目標については、「前部長のようになりたいですね。夏のコンクールで金賞を取ることです」と、元気よく話してくれました。

若狭姫神社

「若狭おばま」を紹介するときに思い浮かぶ場所の一つが若狭姫神社・彦神社の若狭一の宮です。

若狭姫神社の祭神は、豊玉姫命（とよたまひめのみこと：乙姫）。海上安全、海幸大漁の守護神として信仰されています。

若狭姫神社の境内に入ると、予想以上に明るく、観光客が奥にそびえる千年杉のてっぺんを見上げる姿をよく見かけます。境内のあちこちにお参りする方へ向けた説明文があり、若狭姫神社で若狭彦神社と2社分の御朱印をいただけます。

若狭姫神社・若狭彦神社の両社は、縁結びのパワースポットとして有名です。早朝にお参りするとさらに効果があるらしいです。



【問い合わせ】
 若狭姫神社 ☎ 56・1116

【アクセス】
 小浜市遠敷 65-41
 JR 東小浜駅から徒歩 15 分
 舞鶴若狭自動車道小浜 IC から車で 7 分
 (文と写真: 地域おこし協力隊 アイザワ)

イチ押し! トップアスリート

卒業後も小浜で投げ続けたい

昨年8月の県民スポーツ祭、ソフトボール男子の小浜代表チームは、7年振りの勝利を挙げます。歓喜の輪の中に、ピッチャーの山口直樹さんの姿がありました。

現在、県立大学4年生の山口さんは、広島県出身。高校までは野球部で野手をやり、大学入学後は、先輩の勧誘でソフトボール部に入部。ポジションもピッチャーに転向します。「美業団で活躍する選手の動画を繰り返し見ること、独学で技術を磨いてきました」と、話します。

「部活を引退した3年生のときに、

知人からソフトボール協会の理事長を紹介してもらい、現在のチームに入団しました」と振り返る山口さん。競技の魅力を、「ピンチを乗り越え、点を取ったときに、チームのみんなと喜び合えること」と、語ります。

「地域のチームに入ったおかげで、本当に多くの人と仲良くなれました。大学卒業後は、小浜で就職して、定住したいです」と、笑顔で話す山口さん。チームの市長杯争奪大会優勝を目標に、今日もマウンドに立ち続けます。



小浜市ソフトボール協会 寿スラッガーズ所属
 やまぐち なおき
山口直樹さん
 (21歳・水取四丁目)

健康長寿のススメ

加齢による物忘れ

記憶の流れ

一部を忘れる

- 【例】
- ・ 食事の献立が思い出せない
 - ・ 外出先で人と会ったことを忘れるなど

認知症

記憶の流れ

全体を忘れる

- 【例】
- ・ 食事をしたこと自体を忘れる
 - ・ 外出したこと自体を忘れるなど

● 次回のテーマ
 「認知症の予防法」

■ 問い合わせ 地域包括支援センター ☎ 64・6015

知って安心 認知症①

「認知症」?
 それとも「物忘れ」?

現在、65歳以上の4人に1人は認知症またはその予備軍と推計されています。3人に1人が高齢者となった小浜でも、誰もが身近なところで認知症に関わる可能性があります。

- 認知症の大切なポイントは、
- ① 早く気付くこと
 - ② 予防につとめること
 - ③ 認知症になっても安心して暮らせるようにみんなが協力しあうこと

今回お伝えする内容は、「①早く気付くこと」。早期発見のためにチェックしてみてください。

◆ 認知症のサイン (例) ◆

- 慣れた道でも迷うことがある
- 好きだったことや趣味などへの興味や関心がなくなった
- 物の置き忘れがしばしばあつて困る
- 最近の出来事を思い出せないことがよくある
- 以前より怒りっぽくなった
- など性格が変わったと感じる(またはそう言われる)
- 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われる

☆いくつかチェックがつく場合は、かかりつけ医または地域包括支援センターに相談してください

※認知症のサイン(例)は、小浜市「健康チェックリスト」より抜粋

アート&カルチャー

書けた、という充実感を

青黄社は、70代から80代の男女6人で構成される書道の団体で、元々は関西の「書境社」という団体に所属していた小浜のメンバーが集まって、20年以上前に結成されました。今はそれぞれ、展示会への出品や、書道教室の主催などの活動を行っています。

会員のひとりである奥城さんも、現在、子ども向けの書道教室を主催しています。教室には地元の小中学生数人が通って、日々腕を磨いています。指導の際に気をつけていることについて、「書けた、という充実感を感じ

てもらうことを大切にしています。そのため、簡単にマルをあげることはありません」と、答えてくれました。

すでに書かれた字を直すより、書いている最中に指摘することが大事、という奥城さんの信念から、教室の間は生徒たちの書く様子を常に見て回り、指導を行っています。

今後の目標については、「子どもの持っている力を十分に出してあげること、書道をしていて良かった、と後から思ってもらえるようにしたいです」と、力強く話してくれました。



上 / 前列中央が奥城さん 下 / 教室の様子 (9月28日/月・雲浜一丁目)



せいこうしゃ
 青黄社(書道)
 おくしろ ふみよ代 さん
 (79歳・雲浜一丁目)

■今月の子育て情報



全園すくすく広場※

とき：10日㊄
9時30分～11時30分
ところ：市内各公立保育園
(市内の公立保育園を開放しています。親子あそびの場を提供します)
※認定こども園は対象外

子育てサロン※

とき：17日㊄
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(子育て相談会やクッキングなど、育児のアイデアを提供しています)

のびのび広場※

とき：4日㊄
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(季節に応じた製作や運動会など、子どもが楽しむ親子あそびを提供します)

誕生会※

とき：25日㊄
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(今月に誕生日を迎えるお子さんのお祝いを楽しみましょう)

スクスク元気っ子教室

とき：17日㊄
10時～10時30分受付
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
(離乳食の試食や相談、発育・発達、育児相談。身体計測も可能です)

子育てワイワイ広場

とき：9日㊄
9時30分～12時
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
(未入園児の親子に一室を開放しています。交流の場としてどうぞ)

母乳育児相談

とき：9日㊄
10時30分～11時30分
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
(助産師による母乳育児の相談です。体重、哺乳量の測定も可能です)

■体や心・生活の相談



エイズ・肝炎相談、検査

とき：2日㊄、16日㊄
9時～10時30分
ところ：若狭健康福祉センター
☎同 ☎52・1300
(匿名で、エイズ・肝炎に関する相談や、検査を受けることができます)

精神保健相談※

とき：10日㊄、17日㊄
9時30分～11時30分
ところ：若狭健康福祉センター
☎同 ☎52・1300
(心の病気や、心の悩みに関する相談に応じます)

身体障がい者相談

とき：20日㊄
13時～14時
ところ：公立小浜病院 社会福祉課 ☎64・6012
(身体障害者手帳の交付・更新、補装具の交付などの相談に応じます)

カフェ・ぽ〜れ

とき：12日㊄
13時30分～15時
ところ：花水木(鹿島123)
☎坂上和代さん ☎090・5686・4147
(認知症など高齢者の相談窓口です ※参加費100円)

特設人権相談

とき：18日㊄
13時～15時
ところ：働く婦人の家 司法務局 ☎52・0238
(悩みごと、心配ごとのある人は、気軽に相談してください)

心配ごと相談

とき：11日㊄
13時～16時
ところ：サン・サンホーム 小浜 ☎同 ☎56・5802
(介護など生活での困りごとの相談に応じます)

家庭教育相談

とき：7日㊄、21日㊄
14時～17時
ところ：中央公民館 ☎同 ☎52・7837
(青少年との親子関係や家庭における悩みなどの相談に応じます)

■法律や行政・その他の相談

相談名	開催日	時間	ところ	問い合わせ
結婚相談	5日㊄、19日㊄	9時30分～11時30分	文化会館	社会福祉課 ☎64・6011
法律相談(消費生活トラブル)※	5日㊄	14時～16時	嶺南消費生活センター	同 ☎52・7830
出張年金相談※	12日㊄、26日㊄	10時～12時、13時～15時	文化会館	敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
行政相談	17日㊄	13時30分～14時30分	市役所 401 会議室	市民協働課 ☎内線 373
高齢者専門相談(法律)※	19日㊄	13時～16時	嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター	同 ☎52・7832
法律相談(多重債務)※	19日㊄	14時～16時	嶺南消費生活センター	同 ☎52・7830

※印のついた相談は要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります。

■今月の休館日

市立図書館
3日㊄、10日㊄、15日㊄、17日㊄、23日㊄、24日㊄、25日㊄

若狭図書学習センター

2日㊄、4日㊄、9日㊄、16日㊄、24日㊄、26日㊄(2階のみ)、30日㊄

温水プール

2日㊄、9日㊄、16日㊄、24日㊄、30日㊄

市民サービスコーナー

3日㊄、15日㊄、23日㊄

■今月の休日当番医

1日㊄：しんたに医院(千種一丁目) ☎53・1751
3日㊄：★山手医院(山手一丁目) ☎53・5511
8日㊄：中山クリニック(多田) ☎56・5588
15日㊄：★吉井医院(塩竈) ☎52・0028
22日㊄：★田中病院(遠敷十丁目) ☎56・5353
23日㊄：西津診療所(北塩屋) ☎52・1560
29日㊄：★にし内科クリニック(南川町) ☎53・2407

※★印のついた医院が休日当番医の場合、杉田玄白記念公立小浜病院(大手町)で小児科医が休日診療を行います

■今月の窓口

税の納付窓口
休日納付窓口
29日㊄：9時～17時
夜間納付窓口
30日㊄：20時まで

1階窓口延長

毎週金曜日(祝日・年末年始を除く)、市役所1階の窓口(市民課・健康長寿課・社会福祉課・税務課・環境衛生課・会計課)では、執務時間を18時30分まで延長しています。

先祖供養のご相談は是非当社へ!!
安心と信頼 地元の石屋さん
有杉田石材店
お気軽にお問い合わせください
お墓ディレクター(1級)在籍
(日本石材産業協会登録第12-100024号)
小浜市小浜広峰55
☎(0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム
AIVIX
株式会社アイビックス
若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

au お得な情報をとどけ!!
facebook 「E-ショッピング小浜」で検索
twitter @aushopobama
au ショップ小浜
☎0800-7002298

11/26は年に1度のいいふろの日
回数券お得販売
11/26(祝)限定
回数券(11枚綴り6000円)を購入の方に
無料入浴券2枚プレゼント!!!
年に1度のこの機会をお見逃しなく!
小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま食文化館内
TEL0770-53-4126
お食事場だけの利用もできます!

はましんの自動車ローン
カーチャオウ!
優遇金利にて大特価! 販売中です。
最長 最高
10 500
年 万円
はましん
小浜信用金庫
お問い合わせはお近くのはましんまで!

昭和57年～昭和59年製のトヨタミ石油ファンヒーターを探しています
上記期間に製造された製品には、現在、取り付けが義務化されている安全装置が装着されておりません。誤った使用方法により、事故が起こる可能性があるため、1986年(昭和61年)より自主交換を行っております。
対象機種
LCR-3・LCR-3-1
LS-3・LS-3-1・LS-6
ご連絡先
〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
株式会社 トヨタミフリーコール
0120-104-154
(お客様よりお知らせ頂きました個人情報、商品の交換目的以外には使用いたしません)
現在の石油ファンヒーターはPSCで定められた安全装置が全機種についております

人の動き(10月1日現在)

・人口 30,389人 (前月比-16人) (前年同月比-245人)
男性 14,823人
女性 15,566人
世帯数 11,869世帯
・異動 転入 58人
転出 51人
出生 14人
死亡 37人

編集後記

●今の特集記事では、36年にも渡って障がい者支援に取り組む「買物ボランティア」の皆さん取材しました▶大学教授の金泰明さんは著作で、他者を救済しようとする気持ちは、「人と人がともに生きようとする意志だ」と、論じます▶小浜でも、多くの人が、ともに生きようと、手を取り合い、歩み続けています▶そのことを誇りに、わたしもともに歩きたいと思えます(松)

●先月号に掲載した広報アンケートの結果を受けまして、今月号から紙面リニューアルを行いました▶中学生を紹介するコーナーや、健康に関するコーナーなどを新設▶若者紹介のコーナーは、「働く若者」という面に焦点を絞りました▶これからの世代が、小浜で働くことを考えるきっかけになればと願います▶今後とも広報へのさまざまなご意見をお待ちしております(仲)

今月の一枚

秋の味覚
柿の木(四分子)



秋晴れのある日、道路沿いに大きな柿の木を見つけました。今にも落ちそうなくらい色づいた実が2つ、やさしくそよぐ秋風に揺れていました(10月13日撮影)

|| ホットフォト Hot Photo

まちのニュースを写真でお届けします!



上/放生祭で大勢の観客が見守るなか^だ演物を披露する飛鳥山(八幡神社・9月19日)
左上/薬師如来御開帳に、上田区と下田区の神楽などが17年ぶりの集結(長田寺・9月23日)
左下/遠敷祭りでライトアップされた千年杉の前で稚児舞の披露(若狭姫神社・10月10日)

広報おばま

No. 743 平成27年10月26日(月)発行

発行 福井県小浜市
〒917-8585 小浜市大手町6番3号

編集 企画部市民協働課 ☎64・6009 FAX53・0742

ホームページ <http://www1.city.obama.fukui.jp/>
電子メール kouhou@city.obama.lg.jp
印刷 若越印刷(株)小浜営業所